



Vol.186

令和7年度12月号

伊豆沼・内沼ラムサール条約湿地登録40周年記念イベントとして、11月1日に「みらいへつなぐいきものフェスタ」が、11月2日には「サンクチュアリ友の会 秋穫祭」が開催され、大勢の来場者で賑わいました。

写真：「みらいへつなぐいきものフェスタ」の様子

「みらいへつなぐいきものフェスタ」盛況に開催

11月1日に当センター（鳥館）で行われた宮城県主催の「みらいへつなぐいきものフェスタ」は、730名の方々にご来場いただき盛況に開催されました。会場では地域の団体や宮城県、環境省から伊豆沼・内沼にちなんだクイズやゲーム、工作などのワークショップが出展され、子供から大人まで多くの来場者で一日中賑わいました。また、屋外では探鳥会や魚の観察会も行われ、当財団研究員の説明を受けながら熱心に観察を行いました。大勢のご参加ありがとうございました。



探鳥会（当財団）



魚の観察会（当財団）



いきものペンダント・パズル作り (kamone)



指せ渡り鳥マスター
(環境省仙台自然自然保護官事務所)



ガンのモビールを作ろう
(伊豆沼農産、アトリエ「み」)



いきもの工作
(くりはらツーリズムネットワーク)

伊豆沼・内沼ラムサール条約登録湿地40周年 記念式典・シンポジウム

日時 12月23日(火)13:00～17:00 対象 招待者、一般県民(先着)

場所 栗原市 エポカ21大ホール

※ 申込方法・開催概要は右のQRコードから県HPへ



—秋晴れのもとサンクチュアリ友の会「秋穫祭」が開催—



秋晴れのもと伊豆沼の恵みに舌鼓

11月2日、当センターにおいてサンクチュアリ友の会が主催する「秋穫祭」が行われ、約500人の参加者で賑わいました。

当日は好天に恵まれ、お馴染みのいも煮や、沼エビのかき揚げ、ナマズの唐揚げに加え、今年は伊豆沼で獲れたウナギもメニューに加わり沢山の人に味わっていただきました。

また、会場では40周年記念イベントとして鳥の巣箱づくりやハスの花の折り紙、スペシャルガチャなどのコーナーが設けられ賑わうとともに、当財団フォトコンテストの審査員である写真家の井村淳先生を講師に迎えた写真教室も開催され、プロの技術を真剣に学んでいました。



沼エビのかき揚げ



ナマズの唐揚げ



写真家 井村淳先生による写真教室

— ガンの飛び立ち観察会＆ラムサール湿地見学ツアー —

11月8日と11月23日、毎年好評のガンの飛び立ち観察会（第7回と第8回自然体験講座）が開催され、夜明け前から日の出にかけて、伊豆沼の獅子ヶ鼻でマガンの飛び立ちを観察しました。全国からカメラマンが集まる飛び立ちを観察した参加者からは、多くの感動の声が寄せられました。

また今年は、ラムサール登録40周年を記念してラムサール条約登録湿地の蕪栗沼と化女沼を見学するツアーとして開催し、それぞれの特徴など研究員から説明を受けながら見学しました。



飛び立つマガンの群れにカメラを向ける参加者

— 11月の企業・団体による環境保全活動 —

豊田合成東日本(株)



カキツバタの観察足場を造成

11月9日に45名による環境保全活動が行われ、水生植物園のヨシ刈りや、池のカキツバタがより間近に観察できるよう観察足場の造成を行つていただきました。

宮城いきいき学園登米・栗原校



カマや草刈機で除草作業

11月12日に会員10名が参加して、水生植物園内のカキツバタ水路や散策路、法面などの除草作業を行つていただきました。

伊豆沼での体験活動に歓喜

胴長での沼歩きに挑戦 神奈川県立川崎北高校

10月29日、80名の生徒が伊豆沼を訪れ、胴長を着ての沼歩きや定置網に入った魚に触れたりして、沼の自然を体験しました。



初めての胴長を着ての沼歩き

沢山のエビに驚き 若柳小学校3年生

11月11日に78名の児童が体験活動。定置網から上げられた舟いっぱいのエビに歓喜していました。



舟いっぱいのエビに歓喜



〒989-5504 宮城県栗原市若柳字上畠岡敷味17-2
宮城県伊豆沼・内沼サンクチュアリセンター
指定管理者 (公財)宮城県伊豆沼・内沼環境保全財団

Tel0228-33-2216 Fax0228-33-2217
ホームページ:<http://izunuma.org/>
E-mail:izunuma@circus.ocn.ne.jp

